

第12回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録(案)

日時 : 平成26年 9月 30日(火) 14時00分~15時45分

場所 : 自動車会館 1階 会議室

出席者 : 大西委員長, 栗原副委員長, 福永委員(A部門長), 福井委員(B部門長), 遠藤様(佐藤委員代理)(B部門代表), 宮崎委員(C部門長), 泉井委員(C部門代表), 野田委員(E部門代表), 芹澤委員(2号委員), 奥村様(D部門, オブザーバ), 市川様(D部門, オブザーバ), 桂幹事(敬称略), 以上12名

配付資料

- 資料12-0 第12回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料12-1 第11回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録(案)
- 資料12-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料12-3 「スマートグリッドのスマートファシリティ内におけるEMC環境特別調査専門委員会」設置趣意書(案)
- 資料12-4 「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動状況報告
- 資料12-5 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」第1回 議事録(案)
- 資料12-6 平成27年電気学会全国大会 シンポジウム取決め

議事概要

1 開会挨拶

大西委員長より, 開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料12-1に基づき, 平成26年6月27日に開催された第11回委員会の議事録(案)について確認を行い, 承認された。

3 特別調査専門委員会の設置について

3-1 D部門(奥村委員長候補)

資料12-3に基づき, 「スマートグリッドのスマートファシリティ内におけるEMC環境特別調査専門委員会」設置趣意書(案)について説明があり, 審議の結果, 設置の承認を行った。
主な質疑内容を以下に記す。

(泉井委員)

委員会名がA部門主体の特別調査専門委員会と似ているが, A部門は故意, D部門は自然発生のものを扱うという理解で良いか。

(奥村委員長候補)

電磁妨害と電磁干渉を対象に考えており, お互いに活動が補完できると考えている。

(福永委員)

A部門の電磁環境技術委員会では設置予定の調査専門委員会では, スマートメータ, スマートホームなども対象に含んでいるため, ターゲットは同じである。しかしながら計測技術側からの立場であり, D部門は設備側からの立場であるため, 相互に補完できる。

(大西委員長)

A 部門から委員を出して頂くと良い。

(福永委員)

計測のエキスパートを委員候補者として既に考えている。

(泉井委員)

設置趣意書内の文章で、既存の委員会の活動と異なるという表現ではなく、補完できるというような表現にするのが良いのではないかと。

(福永委員)

A 部門内で設置している調査専門委員会の活動について、対象の違いを書くのではなく、EMC 計測技術と規制に重きを置いているという文言に変更して頂きたい。具体的には、設置趣意書内「発電・送電・配電等のグリッド側及び貯蔵する設備を対象として」を削除して頂きたい。

(大西委員長)

EMC と言ったときに無線電力伝送なども当然入ってくるので、対象を限定しない方が活動の範囲が広がり、良いと思われる。

(奥村委員長候補)

当該文章を削除して設置を進めたい。

(大西委員長)

なるべく活動の幅を広げて頂き、調査結果が他の部門にも使いやすくなるような形で進めて頂きたい。

特別調査専門委員会の設置承認後、市川幹事より平成26年11月21日(金)に行われる見学会の開催について報告があった。見学先は、(独)労働安全衛生総合研究所の清瀬地区である。本見学会を特別技術委員会と共催で実施したいとの申し出があり、承認された。

桂幹事より見学会の案内を配信する。

3-2 E 部門 (野田委員)

田畑部門長と相談しており、E 部門内において「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」の設置を検討している。次回委員会にて設置について審議を頂けるように準備を進める。

4 特別調査専門委員会からの報告

4-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(福永委員)

前回の特別技術委員会以降、本日までに委員会の開催はない状況である。

4-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(桂幹事代理報告)

資料12-4に基づき、活動状況について報告があった。

平成26年9月12日に開催された第5回委員会、平成26年7月12日に開催された第2回シンポジウム、平成26年9月12日に開催された第3回シンポジウムの報告があった。また、平成26年11月22日に第4回シンポジウムを開催予定である。

4-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」(芹澤委員)

資料12-5に基づき、活動状況について報告があった。平成26年9月1日に第1回委員会を開催した。

5 平成27年全国大会シンポジウムについて

資料12-6に基づいて平成27年全国大会シンポジウムについて検討を行い、本部提案として本特別技術委員会より1件提案することが承認された。

(大西委員長)

本特別技術委員会より活動を紹介するシンポジウムを開催したい。委員長より纏めの活動報告を行い、各特別調査専門委員会より現状報告を頂きたい。平成27年3月24日午前中(3時間)を候補としたい。

資料12-4に基づいて、「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」提案のシンポジウム企画案の説明があり、承認された。

(栗原副委員長)

部門大会で開催されたシンポジウムとテーマや内容等について、少し変更があると良い。

6 その他

大西委員長より、全国大会シンポジウム終了後の来年3月末をもって委員長を交代するとのお話があった。

以上

次回開催：第13回 委員会：平成26年 12月 12日(金) 15時～17時 予定
自動車会館 1階 会議室